

2023 ANNUAL ACTIVITY REPORT



全ての子どもたちが夢と希望を持ち
努力が正当に報われる社会を実現する

NPO法人DAREDEMO HERO



NPO法人DAREDEMO HEROとは

平素より DAREDEMO HEROの活動にご理解とご支援を頂き、により感謝申し上げます。

2023年は、DAREDEMO HEROにとって、基盤固めの一年となりました。2020年から、パンデミック、台風という未曾有の事態が続き、私たちは日々がむしゃらに、目の前で困っている人たちのために「できること」を実行してきました。その中で多くの出会いがあり、たくさんの学びがありました。この出会いと学びを、子どもたちや受益者のために、最大限に深めていくことが、2024年度の私たちの目標です。

お陰様で2023年度は、これまでの活動を継続できただけでなく、7名の新奨学生を迎え、ラフラフのラーニングセンター、HERO'S HOUSE 2の建設を実現することができました。さらに、子どもたち、受益者一人一人の意識の変化を実感できる出来事がたくさんありました。

2024年度は遂に、10年間支援を続けてきた奨学生が社会に出ていきます。さらに、5年ぶりの日本研修旅行を再開させることができ、やっと、辛い時期を支え続けて下さったご支援者様に、直接お礼をお伝えすることができます。

これからも感謝の気持ちを一層に、子どもたちと共に成長していきます。引き続き、皆様のご協力、ご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

NPO法人DAREDEMO HERO
理事長 内山 順子



NPO法人
DAREDEMO HERO
理事長 内山順子



動画はこちら



MISSION

すべての子どもたちが夢と希望を持ち、
努力が正当に報われる社会を実現する

VISION

貧困層が自ら問題を解決する力を付ける機会を提供する

国境を越えた交流を通じて、
互いの視野を広げる機会を提供する



Everybody can be a hero!

貧困問題の 根本解決

奨学生に対する支援



- ・奨学生への生活支援
- ・奨学生への学費支援

地域支援



- ・緊急支援
- ・自立支援
- ・ラーニングセンター

文化交流



- ・スタディーツアー
- ・インターン受け入れ
- ・SDGs プログラム

組織体制 スタッフ一覧

NPO法人DAREDEMO HERO理事・監事



理事長
内山 順子



副理事長
川邊 睦記



理事
石塚 浩之



理事
古島 尚弥



監事
三井田 隆

現地カウンターパート DAREDEMO HERO INC. 理事



President
Khalachuhi Flores-
Caballes



Vice- President
Casmero T. Mahilum



Treasurer
Marietta L. Latonio



Members
Mary Grace A.
Calumba



Members
Glydiza E. Gochoco



Members
Tricia Abong

Webスタッフ



Web SEO担当
神守 由理子

LenzLab

業務委託



税理士

多田税理士事務所

日本インターン



事務局補佐
早川 穂乃花



公認会計士準会員
三村 勇司

DAREDEMO HERO INC. スタッフ



Executive Director
Junko Uchiyama



Social Worker
Maria Lezel G. Lumapac



Social Worker
Jean Nine G. Olaguir



Community Development Worker
Lislie A. Camacho



Community Worker
Richmond P. Quirogo



Head Teacher
Sheryl May Bonite



Admin Assistance
Melanie H. Diez



Admin Officer
Vivian L. Calupe



Finance officer
Takatsugu Aoki



Security officer
Richard Barasan



Driver
Jemboy Tampus



Learning Center Teacher
Jayzon D. Amparado



Learning Center Teacher
Jean H. Bayarcal



Learning Center Teacher
Mary Joy Y. Malazarte



Math Teacher
Richard Mark Jumud



Area Coordinator
Emma Andales



Japanese Teacher
Mitsuhiro Iwasaki



Dietitian Nutritionist
John Rafael Arañas



Cooking Staff
Jennifer Minor



Cooking Staff
Perla C. Borers



税理士

C.J. UY & Co., CPA's

各スタッフからのコメント



2023 DAREDEMO HERO NEWS

JAN



本格的な対面授業再開に
合わせて、昼食提供を再開

JUL



ラーニングセンターの
遠足を実施

マイケルがアメリカ
パイロット留学に出発！



FEB

ファミリーデー開催
総勢約300名が参加！



AUG

MAR



日本の歯科医師による
歯磨き教室を開催

SEP



新奨学生7名を
新たに迎える

高学年の奨学生による
月一回の特別授業開始



APR

ラプラプ
ラーニングセンター完成！



OCT

MAY



セブ日本人会主催盆踊り大会
にて和太鼓演奏に参加

NOV



日本の高校生との
文化交流を実施

放課後の勉強の場として
HERO'S HOUSE2 を再開！



JUN

クリスマス会を開催



DEC

数字で見る2023年

58人



→9ページへ

奨学生の支援

DAREDEMO HEROでは「やる気・志・能力」の高い、小学3年生から大学生、58名に対して徹底的な教育支援を行い、未来のリーダーを育成しています。将来、彼らが各分野、各地域でそれぞれの問題を解決することで、貧困問題の根本解決を目指しています。

ラーニングセンターの運営

イナヤワン及びラプラプのゴミ処理場、カレタ墓地の3か所にラーニングセンターを設立し、最貧困層の子どもたち75人に学びの機会を提供しています。

→12ページへ

75人



自立支援事業実施

セブ市、ラプラプ市の最貧困地区4か所、400世帯に対して、生活の向上及び自立を目指した、様々な事業を実施しています。

→11ページへ

400世帯

-7-



500着

食糧支援（お米）

ラーニングセンターの子どもたち、各種セミナー参加者に対して、定期的なお米による食糧支援を実施しています。また、火災等の緊急支援時にもお米の配布を実施しています。

火災被災者への 制服支援

大規模火災によってすべてを焼失してしまった子どもたち500人に対して、通学に必要な制服を支給しました。他にも古着や生活必需品の緊急支援を行いました。



250人



14 t

スタディーツアー 参加者

スタディーツアーを開催し、日本人のユースに対して貧困問題やSDGsについて学ぶ機会を提供しています。

-8-

教育支援

目的: あらゆる社会問題を解決できる未来のリーダーを育成する

対象者: 貧困層で学習意欲・志・能力の高い小学3年生から大学生

対象人数: 58名

リーダーシップカリキュラムをスタート！

真のリーダーを育成するために、オリジナルのカリキュラムを使った「リーダーシップ教育」を始めました。学年ごとにそれぞれの目標を定め、着実にリーダーを育て上げます。



キャリア教育も同時に行っています。

パイロットプロジェクト進行中！

現在、奨学生のマイケルとクリスティンが、事業用操縦士の資格取得に向けて、訓練を受けています。マイケルは、既にアメリカで自家用操縦士の資格を取得し、今後セブで訓練を続ける予定です。

貧困層にとっては、まさに夢のようなこのプロジェクトを実現することで、多くの貧困層に「がんばれば夢は叶う！」という希望を与えることができます。



大学合格実績



Chariz An Vanzuela
チャリズ 19歳
フィリピン大学



Nathaniel Villanueva
ナタニエル 19歳
アジア工科大学



Cabigas, Shiela Mae
シェイラ 19歳
セブ大学



Raul Bacolod
ラウル 19歳
セブ大学

新奨学生紹介



アイラ
3年生



セセル
3年生



カリックス
3年生



ジーア
3年生



ジェイヒル
3年生



カイル
3年生



ゼファニア
3年生



生徒会長 Jeanette B.Dapulang

この1年、生徒会長として活動することで、私は組織力と対人スキルを磨いただけでなく、協調性と適応力の重要性を学びました。そして、真のリーダーシップは困難に直面し、それを克服したときに初めて、身に付くものだと分かりました。リーダーシップとは肩書きではなく、前向きな変化を促す責務であるという信念を忘れず、社会に出てDAREDEMO HEROで学んだことを活かしていきます。

地域支援

目的: 受益者を拡大し、地域力を向上することで貧困層の自立を促し、貧困問題の根本解決を目指す

対象者: セブの最貧困地区に住む向上心の高い世帯

対象世帯数: 400世帯

地域力の向上



公益財団法人 大阪コミュニティ財団
The Osaka Community Foundation
ライフスキル向上事業



風になつライン基金
女性の感染症予防教育



子どもの口腔衛生改善事業



ain
The Agri-motor Foundation
栄養改善事業



零細農家の自立支援事業

コロナ禍の緊急支援から本格的にスタートした地域支援は、緊急時に「今を生き抜く」ための支援から、「自分たちの力で生きる」ための自立支援に切り替え、様々な活動を継続しています。

今の生活より、少しでも衛生的・文化的な生活を望む最貧困層に対して、そこから抜け出すための「選択肢」を提供しています。今日、ご飯を食べて生き抜くことだけに必死だった人々が、学びを通じて少しずつ、明るい未来のための選択を始めています。

ラーニングセンター



ラブラブ
最終処理場（ゴミ山）



カレタ
墓地



イナヤワン
最終処理場（ゴミ山）

コロナ禍で2年半以上、対面授業が禁止される中、多くの最貧困層の子どもたちが「学びの機会」を失っていました。そんな子どもたちに、もう一度「学ぶ喜び」を知ってもらうために、最貧困地区3か所にラーニングセンターを設立しました。現在75名の子どもたちに対して、各センター専属の教員資格を持ったスタッフが勉強を教えています。

ラブラブゴミ山に住むJC ROSS（8歳）

ぼくのお母さんは、家族のために仕立て屋での仕事のあと、ゴミ山に行ってゴミを拾っているんだ。だから、ぼくが宿題の手伝いをお願いしたくても、家には誰もいない。ラーニングセンターでは、先生もいるし、友達と一緒に勉強ができることが、とっても楽しいんだ！
遠足に行ったり、クリスマス会とか、行ったことがない場所に行けることも、すごく楽しい。学校で、ぼくが難しい英単語を知っていると、みんな驚くのもうれしいよ！



学習サポート

教員資格を持った、各センター専属のスタッフによる学習サポート。主に学校で学んでいる勉強の予習復習を行っています。

交流事業

日本人との交流を通じて、様々な経験を提供しています。



歯磨き指導

定期的に歯ブラシ・歯磨き粉の配布・歯磨き教室を実施し、口腔衛生の向上を図っています。



食糧支援

無遅刻無欠席の子どもたちには、お米の配布を行い、安心してラーニングセンターに通える環境を整えています。

体験学習

映画館、博物館など、普段行くことのできない場所で様々な体験を提供しています。



ライフスキル向上事業

事業目的

経済的、精神的に安定した生活を送るために、必要な知識を提供する

事業期間

1期目：2022年4月から2023年3月末
2期目：2023年4月から2024年3月末

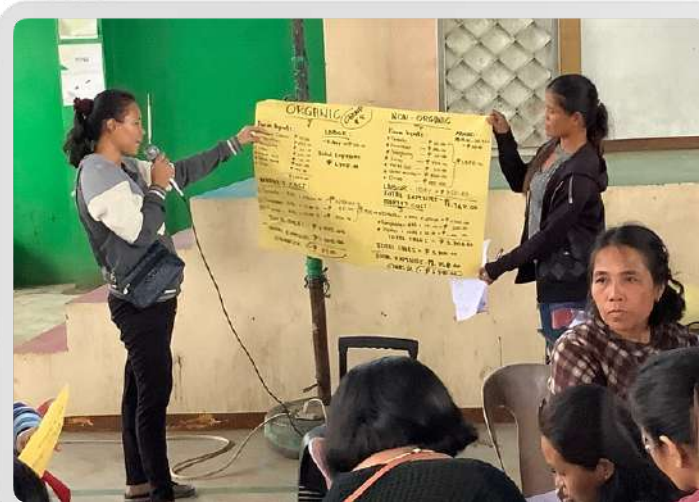


対象受益者

- ・学ば意欲の高い最貧困層
- ・山岳農村地区に住み、情報を得ることが難しい貧困層

受益者数

- ・都市部3地域各30世帯
- ・山岳部100世帯
- 計190世帯



貧困層の多くは、世帯の月の収入や支出を知らずに「その日暮らし」の生活を送っています。まずは収入と支出を知ること、無駄な支出を抑え、計画性のある生活を目指しています。また、保険や年金制度を知ること、活用できる社会保障や行政サポートの選択肢を提供しています。

貧困層は、日々様々なストレスにさらされており、その正しい解消法が分からないために、お酒や薬物、暴力で解消してしまいます。ストレスマネジメントや、感情コントロールのスキルを学び、精神的にも安定した生活を目指しています。

イナヤワンゴミ山に住むGwinne Aplicador

私は2人の子供を持つシングルマザーです。昨年DAREDEMO HEROが開催したビジネスコンテストで優勝し、自分のお店を始めました。以前は、1日350ペソしか利益がありませんでしたが、たくさんことを学び、今は540ペソの利益があります。おかげで、ビジネススクールに復学することができ、今は大きな夢を持って頑張っています。

DAREDEMO HEROが私と私の家族の人生を変えてくれました！

子どもの口腔衛生改善事業

事業目的

子どもたちの虫歯の治療と歯磨きの習慣化を行い、健康な歯で健康な身体を作る

事業期間

2021年度より継続

対象受益者

- ・奨学生
- ・ラーニングセンターの子どもたち

受益者数

133名



羽尾歯科医院 春日山

イナヤワンゴミ山に住むクリストファー

歯磨き教室を受ける前は、あまり歯磨きをしませんでした。だから、虫歯が痛くて、ご飯が食べられなかったり、学校に行けないこともありました。今は、毎日2回歯磨きをしています。カレンダーにシールを貼るのも楽しいです。ご飯も何でも食べられるようになって、うれしいです。

貧困地区では歯磨き習慣が定着しておらず、多くの子どもたちが深刻な虫歯を抱えています。根本的に歯ブラシを買う余裕のない家庭もあり、DAREDEMO HEROでは、歯磨きの重要性を伝えるとともに、定期的に歯ブラシと歯磨き粉の配布を行っています。さらに歯磨きの習慣化のために、歯磨きカレンダーを用いて、楽しく歯磨きを継続できるように工夫しています。歯磨き教室は日比の歯科医師、歯科衛生士の協力のもと、専門性の高い指導を行っています。

また、治療が必要な虫歯は現地歯科医師の協力のもと、必要な治療も行っています。



女性の感染症予防事業

事業目的

貧困層の女性が自身の身体を理解し、社会的権利を持って生活するための知識を提供する

事業期間

1期目：2022年4月から2023年3月末
2期目：2023年4月から2024年3月末

対象受益者

・都市部の最貧困地域
・山岳農村地区に住み、情報を得ることが難しい貧困層

受益者数

・都市部300世帯
・山岳部100世帯
計400世帯



貧困層の女性は知識の不足から、若年妊娠、性感染症などの危険にさらされています。経済的な自立ができないため、家庭内で意思の主張が難しい女性も少なくありません。子どもへの愛情が強く、家庭を大事にする女性は、自身の健康をないがしろにしてしまうことも多く、早期治療によって助かる命が失われてしまう悲しい現実もあります。女性疾患に関する知識だけでなく、予防や行政サポートによる治療などの必要な情報を提供することで、女性が健康的、社会的権利を持って生活できるように、様々なセミナーや無料の検査を行っています。

タランバン地区に住むCecilia Tejares

DAREDEMO HEROは、貧困層のほとんどが受けることのできない女性疾患検査を無料で実施し、さらに自分たちで検診をする方法を教えてくださいました。この検査で、私は子宮に腫瘍があり、精密検査が必要であることを知ることができました。早く気付くことができて、深刻な病気にならずに済みました。



農業技術支援

事業目的

山岳貧困農家に対して、農業に必要な知識を提供し、生産性及び収益率の高い農業を行うことで、生活の改善を目指す

事業期間

2022年度より継続

対象受益者

TAP TAP地区に住む零細農家

受益者数

100世帯

TAP TAPの農家 Marilyn Inot

DAREDEMO HEROから教えてもらったコンポストイングを始めてから、今までのようにたくさんの化学肥料を購入する必要がなくなりました。ちょうど、学校に進学した子どもがいるため、出費が減って収入が増えたことはとても助かっています。セミナーで配布されるお米も、家計の大きな助けになっています。



山岳農村地区では、農業技術や知識が圧倒的に不足しており、毎年起こる台風等の災害のたびに、大切に育てた作物は甚大な被害を受け、収入源を失い続けています。現在育てている作物に加え、市場で高値で取引されている作物や、コンポストイングを使った有機野菜を栽培することで、収益性の高い農業を目指しています。農業の知識だけでなく、農業経営に必要な簡単な収支計算や交渉技術も同時に知ること、自分たちの力で持続可能な農業経営ができるようサポートしています。



栄養改善事業

事業目的

実態調査に基づいた、実現可能・持続可能な栄養改善方法を確立し、貧困層に広める

事業期間

1期目：2022年4月から2023年3月末
2期目：2023年4月から2024年3月末



対象受益者

・都市部の3つの貧困地区
イナヤワン・カレタ・タランバン地区

受益者数

300世帯



助成金内訳 (掲載順不同)

ゆうちょ財団NGO海外援助活動			
事業名	貧困層からのリーダー育成事業		
実施期間 (年数)	2023年 4月～ 2024年 3月 (1年間)	助成額	1,000,000円
公益信託 今井記念海外協力基金			
事業名	貧困層からのリーダー育成事業		
実施期間 (年数)	2023年 4月～ 2024年 3月 (1年間)	助成額	1,000,000円
公益財団法人味の素ファンデーション			
事業名	フィリピン貧困層の実態調査に基づくコミュニティ主体の栄養改善事業		
実施期間 (年数)	2022年 4月～ 2025年 3月 (3年間)	助成額	2022年度為替変動による損失補填分500,000円 2023年度分として3,649,400円
公益財団法人大阪コミュニティ財団			
事業名	ポストコロナを生き抜くための自立支援		
実施期間 (年数)	2023年 4月～ 2024年 3月 (1年間)	助成額	900,000円
公益財団法人風に立つライオン基金			
事業名	フィリピンにおける女性の感染症予防教育		
実施期間 (年数)	2023年 4月～ 2024年 3月 (1年間)	助成額	1,530,000円
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ			
事業名	2023年度Modest Grantプログラム		
実施期間 (年数)	2023年 10月～ 2024年 3月 (半年間)	助成額	300,000円

フィリピンの食生活には大きな偏りがあり、貧困層ではそれがより顕著にみられます。とはいえ、貧困層の食事に特化した公的な食の調査結果は存在せず、現状が把握できていない現状です。そこで、300世帯に対する徹底した食事調査と食行動に対する聞き取り調査を3年間かけて行い、現状に沿った改善方法を日比の管理栄養士監修のもとで提案しています。最終的には貧困層自らが、実現可能・持続可能な改善方法を、地域行政と連携し、より多くの人々に広めることを目指しています。

タランバン地区に住む Honey Grace

食事のモニタリングを通じて適切な量の栄養素を摂取すること、適切な衛生管理、口腔衛生など、自己管理の大切さを学びました。以前、私は68キロでしたが、今は48キロです。栄養の偏りが原因で甲状腺の病気になり、健康的な食事をとるようアドバイスされていましたが、どうしていいのかわかりませんでした。今は、家庭菜園もはじめて、とても健康的な生活ができています。



文化交流

目的: 日比のユースが互いの視野を広げ、世界の問題を「自分事」として捉えるための機会を提供する

対象者: 国際協力に関心の高いユース

インターン受け入れ

本気で国際協力を学びたいユースのために、DAREDEMO HEROではインターン生の受け入れを行っています。
インターン生は、ボランティアやスタディーツアーでは体験することのできない、子どもたちとの継続的な関わりや、NGOの運営について学ぶことができます。



宿泊型スタディーツアー

実際に現場を知り、学び、考え、行動に移すための宿泊型スタディーツアーを定期的開催しています。1日のツアーではできないディープな体験を通じて、世界の問題に対して自分にできる「アクション」を真剣に学びます。



オンライン講演

オンラインを活用し、講演、SDG s 学習、英語でのディスカッションなど、様々な機会を提供しています。

学校、企業からのご依頼を受け付け中です。

[講演依頼について詳細はこちら](#)



インターン生 三村 勇司（24歳）



約半年間、スタディーツアーの企画・運営や助成金の予算管理など幅広い業務に携わらせていただきました。子どもたちやその保護者、現地スタッフ、さらには支援者様との交流を通じて、多角的な視点でフィリピンの貧困・教育問題に向き合うことができました。
そして何より、「他人を幸せにするために自分が不幸になってはならない」という価値観に気付けたことが私にとって一番の収穫でした。国際協力の現場ではつい自分の幸せを犠牲にしてしまいがちですが、自分の幸せすら手に入れないようでは、他人を幸せにはできません。一方向の支援ではなく関係者全員が幸せになれる支援のあり方を模索している点がDAREDEMO HEROらしさだと思います。引き続き会計担当兼里親として微力ながら団体の活動を支えていく所存です。

宿泊型スタディーツアー参加者 山口 温大さん（大学2年生）

自分の無力さを感じたが、現地を見て直接、フィリピンの人と接したことは自分にとって貴重な体験だった。
大学で国際社会学を専攻しており、フィリピンの貧困について講義を受けていたし、現代はネットを使えば、ある程度、現地の情報は得られる。しかし、一般論として考えられている支援と、実際の現場で必要とされている活動は違うと肌で感じる事ができた。
また、活動中に感じたことを毎日まとめる時間があったことは、有意義だった。



受入れ学校一覧（掲載順不同・敬称略）

東洋英和女子・中村学園・八千代松陰高等学校・南山大学・梅光学園
聖徳学園中学校高等学校・高知教育委員会・桜丘中学高等学校
三浦学苑・富山理容美容専門学校・広島修道大学

ご協力いただきありがとうございました！

DAREDEMO HEROは、たくさんのご支援者様からの温かいご寄付により、支援活動を実施することができています。DAREDEMO HEROの活動を支えてくださるご支援者様に、改めて、心より感謝申し上げます。

里親募集キャンペーン

現在支援している58名の奨学生が大学に通い、学び、夢の実現に向けて継続的な支援を実施するため、里親募集キャンペーンを実施しました。

期間：2023年8月11日～9月10日

里親会員口数：300口達成

寄付の使途：今回のキャンペーンを通して、36口のお申し込みがありました。皆様から頂いたご寄付は、奨学金や生活費の支給、学習支援などに使わせていただきます。

1人の努力だけでは
叶えられない
夢がある

みんなで支えれば叶う夢がある
里親会員募集



クリスマスキャンペーン

奨学生58名、ラーニングセンターの子どもたち75名の計133名の子どもたちとその家族が、ささやかながら幸せなクリスマスを過ごせるように、クリスマスミールセットをプレゼントするためのクリスマスキャンペーンを実施しました。

期間：2023年11月27日～12月15日

寄付総額：963,000円

寄付の使途：セブの各地から子どもたちを会場まで送るための交通費、会場費、食費、プレゼントに使わせていただきました。



2023年度のご支援状況

寄付金額

2023年1月1日
～
12月31日

18,598,446円

里親会員

159名

サポーター
企業

21企業

ドリーム
サポーター

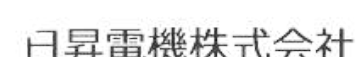
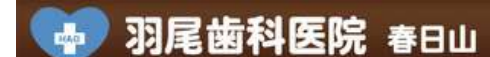
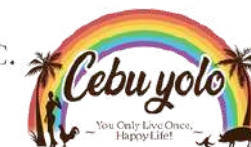
160名

単発支援

延べ 93名

サポーター企業

掲載順不同



協力企業・里親企業

掲載順不同



ご支援方法

DAREDEMO HEROでは、「恵まれない子どもたち」ではなく、
「がんばる子どもたち」を応援しています。
貧困がゆえに、がんばっても夢を叶えることができない子どもたちを、
一緒に応援してくれる仲間が必要です！

里親として特定の奨学生を支援する

特定の奨学生の里親として、
奨学生の夢の実現まで支えて
いただく支援の方法です。



月々2,500円/年間30,000円から



ラーニングセンターを支える ドリームサポーター

ラーニングセンターの子ども
たちの、軽食・学用品などの
支援や、地域支援活動をサポ
ートいただく方法です。



月々1,000円からの月会費



パートナー企業



私たちが行っている活動をご理解
いただき、継続的に活動を行える
ようにサポートしていただける企
業様を募集しております。



年間50,000円から

特定のプロジェクトを支援する



火災や台風などの緊急支援、お
よび単発でのご支援を随時受け
付けております。金額もご自由
にお選びいただけます。



1,000円からご指定の金額

その他の支援方法



支援物資を送る



スタディーツアーに
参加する



インターンとして
活動に参加する



プロボノとして
活動を支援する

DAREDEMO HEROは、皆様のご支援・ご協力により
活動を行うことができます。
ご支援に関しましては、お気軽にお問い合わせください。

 info@daredemohero.com

 050-6865-6966

ご支援者様の声

DAREDEMO HEROでは、支援される側だけでなく、
ご支援いただく方、さらにその間で働くスタッフ、
みんながHAPPYになれる活動を目指しています！



セブ日本人会会長・QQ ENGLISH代表取締役 サポート企業
藤岡 頼光 様

近年、目覚ましい発展を遂げるフィリピンですが、現地では未だに路上で生活する子ども
たちや、物乞いをする子どもたちに遭遇することがあります。その場で、子どもたちにお
金や物を与えても、根本的な問題の解決にはつながりません。だからと言って、何もしな
いこともセブで暮らし、ビジネスを行うものとして、無責任に感じます。
DAREDEMO HEROでは、能力の高い貧困層の子どもたちに教育の機会を提供し、未来の
リーダーを育成することで、この国の貧困問題に長期的に、真剣に取り組んでいます。
そんなDAREDEMO HEROを私は応援しています。



2019年から1年間インターンとして現地活動に参加 里親会員
松本 一紀 様

インターンとして実務に関わるなかで、子どもたちにとって里親がどれだけ大切な存在か
を知り、インターン卒業後に里親としての支援を始めました。実際に支援を始めると、
子どもたちから送られてくる手紙から、子どもたちの成長を感じることができ、自分
自身も子どもたちに負けられないように頑張ろうと思えます。
彼らが成長していくスピード以上に彼らを支えられる自分になれるよう日本での仕事に真
摯に向き合っていこうと思っています。



一般社団法人 MwM Japan 代表理事 里親会員
山田 まりや 様

2023年8月に、11歳の息子とセブ島へ約1ヶ月親子留学をした際に、ボランティアに参加
させていただき、理念と子ども達の夢に感銘、共感し支援を決めました！
どんな状況下にある家庭に生まれても、これから生きる子ども達には窮屈な思いから解
放され、自由な選択肢をいくつも増やしてあげたい！
支援した子が自分の夢を叶え、社会に貢献できるヒーローになった先に、さらに沢山の子
ども達の夢を叶えてあげられるヒーローになってくれる事を願って♡
クリスマスカードや写真が届き、成長を見守る事が出来るのが愛しくうれしいです！



里親会員
信楽 美代子 様

8年前に初めてセブ島を訪れたときに、ゴミ捨て場のような場所で妊娠中の女性が小さな
子どもを育てているのを見ました。道端で洋服や靴を身に付けていない小さな子どももた
くさん見ました。そのとき、毎日無駄に補充される高級ホテルのアメニティをかき集めて
子どもに配りましたが、これでは何の解決にもならない、何が自分にできるかを日本に帰
ってきて必死に考えた末、出会ったのがDAREDEMO HEROでした。
今は二人の奨学生を支援していますが、彼女らが一生懸命勉強し、夢を叶えた結果、多く
の人たちが救われること、それが私の夢にもなっています。

子どもたちの夢の実現を応援してくれる、ご支援者様を募集しています！



活動計算書

2023 年 1 月 1 日 ～ 2023 年 12 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
賛助会員受取会費	11,845,500	11,845,500	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	6,752,946	6,752,946	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	9,305,025	9,305,025	助成金詳細は注記参照
4. 事業収益			
人材育成関連事業収益	1,879,690	1,879,690	主にスタディーツアー参加費
5. その他収益			
受取利息	81		
雑収益	77,132	77,213	
経常収益計			29,860,374
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
業務委託費	32,071,491		業務委託費詳細は次ページ
謝金	29,505		
消耗品費	49,829		
印刷製本費	37,380		
その他経費計	32,188,205		
事業費計		32,188,205	
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
通信運搬費	214,638		
諸会費	65,903		
租税公課	2,000		
支払手数料	565,479		
国内業務委託費	1,125,599		決算代行及び国内事務作業委託費(コングラント)
会議費	3,000		税理士事務所委託費
地代家賃	61,600		
減価償却費	158,884		
雑費	15,080		
その他経費計	2,212,183		
管理費計		2,212,183	
経常費用計			34,400,388
当期正味財産増減額			△ 4,540,014
前期繰越正味財産額		9,703,955	
会計方針の変更による累積的影響額		△ 800,756	
遡及処理後前期繰越正味財産額			8,903,199
次期繰越正味財産額			4,363,185



収支報告書

2023年1月1日 ～ 2023年12月31日 まで

(単位:PHP)

収入の部	
収入	
前年度繰越金	421,792.45
日本からの業務受託収入 前ページの業務委託費	12,187,811.74
現地NGO寄付収入	1,429,915.46
パイロット事業立替金精算に係る収入	307,206.87
受取利息	29.05
雑収入	28.93
収入合計	14,346,784.50
支出の部	
事業支出	
食事提供費用	645,725.22
学費	963,589.60
奨学金	593,299.00
郵便、封筒代	42,897.34
制服代	36,200.00
パソコン、タブレット購入費	74,975.00
教科書代	81,781.75
子どもたちに支給する学用品費	56,244.00
緊急支援(主に火災支援)	108,156.55
奨学生に対する医療支援	1,543.00
地域支援事業の教材や配布物	2,085,861.91
ガソリン代、交通費	189,148.73
パイロット事業立替金に係る支出	204,869.88
文化交流事業	50,240.00
プログラムスタッフ人件費、ラーニングセンター教員人件費	488,931.16
謝金	768,249.00
会議費、研修費、クリスマス会	600,413.08
教室家賃	331,806.80
雑費	279,066.48
事業支出合計	7,602,998.50
管理支出	
人件費	3,157,619.86
ボーナス	326,171.54
研修費	95,605.34
謝金(外部講師等)	87,567.00
事務所家賃	1,028,400.00
水道光熱費	192,809.87
通信費	96,203.21
消耗品費	183,957.00
事務所家具、家電	112,112.75
租税公費	36,200.00
福利厚生	573,648.69
施設メンテナンス・修理費	126,397.65
業務委託費(会計監査等)	206,700.00
交通費	53,212.48
雑費	248,385.07
管理支出合計	6,524,990.46
支出合計	14,127,988.96

差引残高	218,795.54
為替換算差額	△ 4,816.39
次年度繰越金	213,979.15

2022年 PHP→JPY 平均 = 2.3724
 JPY→PHP 平均 = 0.4215

2023年 PHP→JPY 平均 = 2.6314
 JPY→PHP 平均 = 0.3800

※ 2023年度は日本から32,071,491円の送金を行い、これは現地の着金ベースで12,187,812ペソとなっています。2024年度に入っても引き続き円安が続いており、これが活動に大きく影響しています。為替の変動により、仮に2022年度の為替レートで送金できていた場合と比較して、着金額が1,330,321ペソ(約350万円)目減りしました。

-26-

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

2. 会計方針の変更
従来、賛助会員受取会費、受取寄付金、受取民間助成金、支払手数料については現金主義で処理していましたが、金額的にも重要性が高く、収益および費用の期間対応をより適切に行うため、当事業年度より、発生主義によりこれらの収益および費用を計上することとしました。この変更の結果、会計方針を変更しなかった場合に比べ、活動計算書において、賛助会員受取会費が588,000円増加し、受取寄付金が747,500円増加し、受取民間助成金が254,376円減少し、支払手数料が45,822円増加しています。また、当期変更の適正修正によって生じた前期繰越正味財産の減少額800,756円は、会計方針の変更による累積的影響額として活動計算書および貸借対照表に計上しています。

3. 使途等が制約された助成金の内訳
使途等が制約された助成金の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は4,363,185円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。
使途等が制約された助成金の総額は18,154,632円。当期受入額との差額は未収助成金および前受助成金として貸借対照表に計上しています。

(単位:円)					
内 容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	助成団体(助成金総額)
フィリピン・セブ島最貧困層の子供たちにコロナ禍で失われた学習機会を提供する事業	0	397,200	397,200	0	一般財団法人 日本国際協力システム(1,588,800)
フィリピン・コロナ禍での緊急支援から自立支援への転換事業	0	249,008	249,008	0	公益財団法人 大阪コミュニティ財団(996,032)
フィリピンにおける女性の権利と健康衛生の向上事業	0	248,750	248,750	0	公益財団法人 厚に立つライオン基金(995,000)
フィリピン・セブ島、スーパー台風からの農業復興支援事業	0	466,667	466,667	0	公益信託 アドバ国際援助基金(600,000)
貧困層からのリーダー育成事業	0	1,990,000	1,990,000	0	公益財団法人 ウェスレー財団(1,960,000) ゆうちょう財団 NPO海外援助活動(500,000) 公益信託 寺井彰也海外協力基金(1,000,000)
フィリピン貧困層の高齢者生活に基づくコミュニティー主体の生活改善事業	0	3,860,900	3,860,900	0	公益財団法人 味の素ファンデーション(7,344,600)
ボタ・コロナを生き抜くための自立支援事業	0	675,000	675,000	0	公益財団法人 大阪コミュニティ財団(900,000)
フィリピンにおける女性の感染症予防教育事業	0	1,147,500	1,147,500	0	公益財団法人 厚に立つライオン基金(1,530,000)
Modest Grant プログラム	0	270,000	270,000	0	ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループ(540,000)
フィリピン・セブ島の最貧困層に日本の建築技術を用いた自立を目指す事業	0	0	0	0	特定非営利活動法人 関西NGO協議会(200,000) ※2024年度に開始予定の事業
合 計	0	9,305,025	9,035,025	0	計10団体(18,154,632)

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)					
科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額
有形固定資産					
什器備品		317,768		317,768	△ 158,884
合 計	0	317,768	0	317,768	△ 158,884

※デザイン等可能な高性能なノートパソコンを購入



全ての子どもたちが夢と希望を持ち、努力が正当に報われる社会を実現する

財産目録
2023 年 12 月 31 日現在

(単位:円)			
科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	0		
ゆうちょ銀行	2,245,395		
楽天銀行	1,813,450		
未収収益			
賛助会員未収会費	1,140,500		
未収寄付金	1,149,000		
未収助成金	250,000		
流動資産合計		6,598,345	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
パソコン	158,884		
(2) 無形固定資産	0		
(3) 投資その他の資産	0		
固定資産合計		158,884	
資産合計			6,757,229
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受収益			
前受助成金	2,244,850		
未払金			
クレジットカード未払金	58,875		
未払手数料	80,103		
その他未払金	4,090		
預り金	6,126		
源泉所得税			
流動負債合計		2,394,044	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,394,044
正味財産			4,363,185

貸借対照表
2023 年 12 月 31 日現在

(単位:円)			
科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,058,845		
未収収益	2,539,500		
流動資産合計		6,598,345	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	158,884		
有形固定資産計	158,884		
(2) 無形固定資産	0		
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		158,884	
資産合計			6,757,229
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受収益	2,244,850		
未払金	143,068		
預り金	6,126		
流動負債合計		2,394,044	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,394,044
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	9,703,955		
会計方針の変更による累積的影響額	△ 800,756		
適正化処理後前期繰越正味財産		8,903,199	
当期正味財産増減額		△ 4,540,014	
正味財産合計			4,363,185
負債及び正味財産合計			6,757,229

※大幅な為替の変動、及び現地の急激な物価の高騰、最低賃金の引き上げにより発生した、2023年度分のマイナスを補填し、2024年度に改善を図るために、2024年度は以下3点に力を入れて、安定した組織運営を目指します。

1,スタディーツアーの本格再開(収益事業) 2,日本での講演活動による支援者拡大 3,組織強化に取り組み、2年後の認定申請を目指す

住所

兵庫県西宮市羽衣町7-30夙川グリーンタウン3F
800 Highway 77 Talamban Cebu City Philippines

電話

050-6865-6966
0917-706-7575

メール

info@daredemohero.com